

最新治療分かりやすく解説



製鉄記念室蘭病院で行われるがん治療や最新の治療事情などを紹介した「がん診療ハンドブック2018」



製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)は「がん診療ハンドブック2018」を発行した。消化器や呼吸器、泌尿器の各科に婦人科、血液の各がんについて、各診療科専門医らが症状から検査・診断のほか「同病院で行われるがん治療」や「最新の治療事情」などを解説している。

製鉄記念室蘭病院 ハンドブック発行

とめた冊子「がん治療の今」が発行(16年6月)から2年が過ぎたため、最新の内容を盛り込んだ冊子を改めて作製した。「室蘭がんフォーラム」の活動の一環でもある。

胃、大腸、肺、肝臓、乳房、胆道、膀胱、子宮、食道、前立腺、ぼうこう、腎臓の各がんのほか、血液内科領域の悪性リンパ腫・慢性骨髄性白血病・多発性骨髄腫について解説。がんの種類ごとに症状や検査、最新の治療方法などについて図やイラストも交え、分かりやすくまとめた。

前田病院長は「がんの診断・治療を担当する医師らが最新の内容を盛り込み、分かりやすく執筆した。皆さんのお役に立てれば幸い」と話している。

5千部作製。同病院各所で無償配布しているほか、同病院ホームページでもPDFデータ形式で読むことができる。(松岡秀宜)